

あなたのそばにうかがいます！ 『ひえづ出前図書館』

### 日吉津村図書館の現状

平成 27 年 6 月に公共図書館として日吉津村図書館は開館した。日吉津村図書館は公民館機能と健康増進機能と図書館機能の 3 機能を持ち合わせた複合施設ヴィレステひえづの中にある。開館から 5 年を迎え、週末になると県西部地区を中心に村外からも利用者が家族連れで利用する。しかし、利用者の年代別の割合を見てみると 60 代以上の利用は全体の 19% で、その中でも村内の 60 代以上の利用者のごくわずかなものになっている。高齢者サービスとして①いきいきコーナー（シニアと健康、生きがいつくり、趣味、相続・年金、長寿のひけつ、音読、大活字本など）の常設②リーディングトラックや拡大鏡の貸出③あたまイキイキ音読教室の開催などがあるが、村内のシニア層の利用促進にはつながっていない状況である。日吉津村図書館では、村内の未利用者の中でもシニア層に注目し、利用促進に努めることにした。



▲いきいきコーナー



▲あたまイキイキ音読教室

#### ●シニア層の声から

当初、日吉津村図書館では当施設が日吉津村のほぼ中心でかつ、日吉津村役場や社会福祉センターに近接していることからシニア層の利用も多くなることを予想していた。しかし、シニア層からは次のような声が聞かれた。

- ・図書館は高尚な場所なので自分はふさわしくない（昔の図書館のイメージ）
- ・毎日が忙しくて時間がない（地域の老人会や転倒予防教室・体操教室・グラウンドゴルフといった活動や家族の介護で忙しい）
- ・図書館に行く手段がない（自動車や自転車の運転ができなくなった。加齢とともに歩行も困難になってきた）

### あなたのそばにうかがいます 『ひえづ出前図書館』

日吉津村図書館では、そういった実態をふまえて令和 2 年 7 月から『ひえづ出前図書館』を開始することにした。はじめは 7 つの自治会の中でも日吉津村図書館から離れた場所にある 2 自治会（上口 2 区・今吉）を対象にした。

#### ① 日程の調整

シニア層が多く利用する社会福祉協議会の担当者と相談したところ各自治会で月2回「七福会」（自治会によっては名称が異なる）という高齢者の集まりがあり、年間スケジュールが決まっていることがわかり、出前図書館は七福会の終了時間近くに合わせることにした。自治連合会で各自治会長に周知してもらい協力をお願いした。

#### ② 設備の準備

日吉津村図書館は移動図書館車を所有していないため、公用の軽ワゴン車を利用し、荷台部分にコンテナ5箱分（約150冊）を積んで簡易移動図書館車にした。

#### ③ 成果と課題

上口2区自治会では、自治会だよりも『ひえづ出前図書館』のお知らせを掲載したり、コミュニティー各委員に案内したりするなど自治会との連携により、定期的な利用がみられるようになった。図書館職員はおもに実用書・文芸書・大活字本・雑誌など150冊準備していくが、利用者からは予想外のリクエストを受けることもあり、次の出前図書館に準備して届けることでリピーターを確保できるようになった。本来の目標であった図書館の利用促進の他にも、短時間ではあるが、地域のシニア同志の出会いの場、交流の場となった。また、上口2区では出前図書館の前に音読教室もできないだろうかとの相談もあり、図書館を知ってもらう機会はますます増えるのではとその反響に喜んでいる。



▲『ひえづ出前図書館』の様子



#### ④ 今後の展望

現在は2自治会を対象に展開しているが、来年度に向けて全自治会を対象に行えるようにしたい。図書館は来館を待つだけでなく、未利用者の近くまで出かけて行って本を手渡すことやデージー図書（音声図書）や大活字本などの図書館利用の楽しさを紹介することで、「もう本を読むことはできない」とあきらめているシニア層の利用促進につなげていきたい。